

# ハナショウブ園の植栽状況

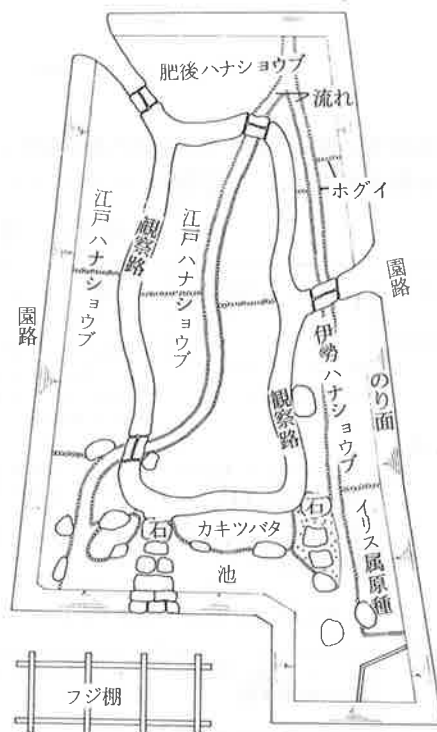
竹下 宏

昭和56年4月からハナショウブ園の造成を園内の池北側で行い、ハナショウブ、カキツバタなど160品種、640株を植栽した。

園概要：総面積約800㎡で、植栽地の周囲を一段高い園路で囲み、なかに鑑賞路と流れ、池を配置させた。また、南側にはフジ棚とベンチを設け、鑑賞と休息の場とした。

土壌改良：植栽地が古い水田の跡地で、大小の石が硬い粘土層のなかに埋っており、植栽には不適當であったため真砂土を客土し改良を行った。使用した土壌改良剤、肥料は表のとおりである。

植栽：江戸系、肥後系、伊勢系の各ハナショウブとカキツバタの園芸品種をそれぞれの区域ごとに原則として1品種3株を植栽した。また、1区画には、ノハナショウブやヒオウギアヤメなど湿地性原種を集め、7種40株を植栽した。



ハナショウブ園土壌改良剤・肥料使用量

土壌改良剤・肥料	使用量	10㎡当り量
樹皮堆肥	1,400kg	47 kg
油カス(ナタネ)	80	2.7
魚粉	40	1.3
熔成燐肥	80	2.7
草木灰	30	0.1

植付植物概要

植物名	品種数	株数
ハナショウブ江戸系	81品種	390株
〃 肥後系	50	142
〃 伊勢系	16	48
カキツバタ	6	24
イリス原種	7	40

## タケ園の植栽について

中ノ殿 潔

昭和54年3月、京都府立植物園からタケ類22種3変種11品種の寄贈を受けた。これらは、昭和53年8月、展示資料館東側に新設したコンクリート隔壁による竹類見本園に植栽した。植栽位置及び植栽植物名は次のとおりである。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35

タケ類見本園区画位置図

タケ類見本園植栽種名

区画	学名	和名	区画	学名	和名
1	<i>Phyllostachys edulis</i> Riv.	キッコウチク	15	<i>Semiarundinaria fastuosa</i> Makino	ナリヒラダケ
	var. <i>heterocycla</i> Makino		16	<i>Leleba multiplex</i> Nakai	ホウライチク
	form. <i>subconvexa</i> Makino		17	<i>Sasaella mikurensis</i> Nakai	ミクラコザサ
2	<i>P. edulis</i> Riv.	ブツメンチク	18	<i>Pseudosasa japonica</i> Makino	ラッキョチク
	var. <i>heterocycla</i> Makino			var. <i>tsutsumiana</i> Yanagida	
3	<i>P. nigra</i> Munro	ゴマダケ	19	<i>Sasa paniculata</i> Makino et Shibata	ネマガリダケ
	form. <i>nigro-punctata</i> Makino		20	<i>S. veitchii</i> Rehd.	クマザサ
4	<i>P. nigra</i> Munro	カブクロチク	21	<i>S. nipponica</i> Makino et Shibata	ミヤコザサ
	form. <i>basiniga</i> Nakai		22	<i>Shibataea kumasaca</i> Nakai	オカメザサ
5	<i>P. nigra</i> Munro	クロチク	23	<i>Chimonobambusa marmorata</i> Makino	チゴカンチク
	form. <i>henonis</i> Makino			var. <i>variegata</i> Makino	
6	<i>P. nigra</i> Munro	メグロチク	24	<i>C. marmorata</i> Makino	カンチク
	var. <i>henonis</i> Makino		25	<i>Pleuroblastus linearis</i> Nakai	リュウキョウチク
	form. <i>megurochiku</i> Makino		26	<i>P. gramineus</i> Nakai	ダイミンチク
7	<i>P. nigra</i> Munro	タンバハンチク	27	<i>P. hindsii</i> Nakai	カンザンチク
	var. <i>henonis</i> Makino		28	<i>P. chino</i> Makino	アズマネザサ
	form. <i>boryana</i> Makino		29	<i>P. communis</i> Nakai	ゴキダケ
8	<i>P. nigra</i> Munro	シマハチク	30	<i>P. pygmaeus</i> Nakai	オロシマチク
	var. <i>henonis</i> Makino			var. <i>distichus</i> Nakai	
	form. <i>albo-variegata</i> Makino		31	<i>P. sinoi</i> Nakai	メダケ
9	<i>P. aurea</i> Carr.	ギンメイハチク	32	<i>P. vaginatus</i> Nakai	ハコネダケ
	form. <i>alternato-lutescens</i> Makino				
10	<i>P. aurea</i> Carr.	シマホテイチク	33	<i>Sasa paniculata</i> Makino et Shibata	シャコタンチク
	form. <i>albo-variegata</i> Makino			var. <i>ontakensis</i> Cam.	
11	<i>P. aurea</i> Carr.	ホテイチク		form. <i>nebulosa</i> Nakai	
12	<i>Tatragonocalamus quadrangularis</i> Nakai	シカクダケ	34	<i>Phyllostachys tranquillus</i> Muroi	インヨウチク
13	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino	トウチク		<i>Leleba multiplex</i> Nakai	
14	<i>S. tootsik</i> Makino	スズコナリヒラ	35	form. <i>alphonso-kari</i> Nakai	スホウチク
	form. <i>albo-striata</i> Muroi				

昭和56年2月の寒波による被害について

高山 信明

広島地方では昭和56年2月26日から28日まで、強い寒波にみまわれた。とくに、26日は終日気温が-5℃前後であった。このときの寒波による被害樹種とその程度を園内及び広島市内（平和公園）の二地点を選び調査した。

今回の寒波の被害が大きかった原因は、寒波襲来前の約半月の気温が平年の3月上～中旬ごろの気温で、植物が休眠から覚めて活動しはじ

めたところに異常低温にあったためと思われる。園内と広島市内の気温は約1℃の差があり、この温度差が被害程度の差となって現われており、被害有及び被害大（枯死）が市内に比べて多く、とくにリュウゼツラン、キョウチクトウなどで被害が目立った。全般的には、常緑広葉樹やヤシ類の被害が多かった。

寒波時の気温

観測日	植物公園		広島市※	
	最高気温	最低気温	最高気温	最低気温
昭和56年2月25日	1.9℃	-4.0℃	3.5℃	-3.0℃
26	-4.0	-7.9	-2.9	-7.4
27	0.6	-8.7	1.4	-7.5
28	4.8	-7.9	5.4	-6.2

※広島地方気象台観測

寒波による被害状況

樹種	植物公園				平和公園（広島市）			
	調査本数	被害なし	被害有※	被害大※※	調査本数	被害なし	被害有※	被害大※※
ワシントンヤシ	17本	0本	13本	4本	10本	0本	10本	0本
フェニックス(カナリー)ヤシ	5	0	5	0	11	0	11	0
ブラジルヤシ	8	0	8	0	12	12	0	0
クサノキ	151	77	74	0	92	0	92	0
タブノキ	46	23	22	1	11	3	8	0
リュウゼツラン	18	0	4	14	6	2	3	1
ホルトノキ	13	0	13	0	2	2	0	0
ユリカ	5	0	1	4	0	—	—	—
ソテツ	0	(防寒処理中)	—	—	24	8	16	0
サボテン	26	0	26	0	0	—	—	—
クマガイモ	1	0	0	1	19	15	4	0
シユウチク	16	11	5	0	13	4	9	0
キョウチクトウ	88	17	27	44	225	206	19	0
フサアカシ	0	—	—	—	48	40	8	0
ジャノメ	23	0	19	4	0	—	—	—
エマリ	42	0	37	5	0	—	—	—
ラシノ	17	0	17	0	0	—	—	—

※被害有……葉、枝に寒害が認められたもの

※※被害大……枯死